

少子化過程における夫婦の妊娠動向：  
妊娠前意図を考慮した妊娠数、流死産／人工妊娠中絶、出生

○守泉理恵（国立社会保障・人口問題研究所）

岩澤美帆（国立社会保障・人口問題研究所）

●研究の目的：1970年代半ば以降、日本では長期にわたる出生力の低下が起きている。合計出生率は2005年を境に反転上昇がみられたものの、2015年以降は再び低下傾向にある。一方で、出生数については、1973年の209万人をピークにほぼ一貫して減少しており、2020年には戦後最少の84万人を記録した。こうした動きは、未婚化・晩婚化・非婚化といった結婚行動の変化に大きく影響されていると見られるが、2000年代以降は夫婦の完結出生子ども数も減少を始めており、夫婦の出生過程もまた低迷している。夫婦の出生力低下については、さまざまな面で子育ての負担が大きく、夫婦が子どもを持つとしなくなったことが一因と考えられている。

しかし、出生の発生は、夫婦の事前の意図ですべて決まるわけではない。人口学における出生力の分析枠組みに立ち戻ると、出生は、妊娠の発生と懐胎過程に規定され、夫婦の事前の出生意図に反した結果も起こりうる（意図しなかった出生の発生や不妊）。そこで本研究は、夫婦出生力の低下の背景を詳細に理解するために、夫婦の妊娠歴の分析によって、2000年代以降の妊娠過程の変化を明らかにする。

●データと分析対象：データは2005年、2010年、2015年に実施された出生動向基本調査の夫婦票における妊娠歴（第5妊娠まで）を用いる。対象は、総数および調査時点で結婚持続期間が10年以上の夫婦（妻の現在年齢50歳未満、妻の結婚年齢40歳未満）である。なお、本分析は調査時点で結婚が継続している夫婦が対象であり、未婚で妊娠して結婚しない場合や、調査時点で離婚や死別をしている女性の妊娠歴は分析に含まれない。

●分析枠組みと研究の問い：出生力の分析枠組みを示したDavis and Blake(1956)、およびその後出生力を規定する近接要因を整理したBongaarts(1978)によれば、出生は性交頻度や避妊手段、受精確率などによって妊娠の発生が規定され、受精後は流死産や人工妊娠中絶によって抑制される。本研究では、妊娠の発生と、妊娠後の懐胎の中断の状況を確認するために、2005年、2010年、2015年の3回の全国調査における夫婦の妊娠歴を用いて、妊娠の発生の変化、妊娠の結果（出生、流死産、人工妊娠中絶）の変化を確認する。さらに、この調査の妊娠歴では、妊娠前の意図（早く子どもが欲しかった、まだ妊娠するつもりではなかった、もう妊娠するつもりはなかった、とくに考えていなかった）をたずねている。そこで、出生に帰結した妊娠については、どの程度意図した妊娠であったか、あるいは、延期または停止意図があったにも関わらず妊娠し出生に至ったものか（意図しない出生）を識別し、発生の状況を確認する。これらの分析により、本研究では、夫婦の出生力変動の背景に、妊娠発生の変化がどの程度寄与したのか、妊娠が出生以外に帰結した割合は変化したのか、そして、出生に至った妊娠は、どの程度意図されたものだったのか、について明らかにする。

●分析の結果と今後の課題：夫婦が経験する妊娠数は減少しているが、妊娠前の意図として「早く子どもが欲しかった」と明確な意図を持って出生に至る割合は高まっている。流死産の割合に大きな変化はなく、人工妊娠中絶は減少傾向にある。意図しない妊娠は2005年より2015年で減少傾向にあるが大きな変化ではなく、いまだに意図に反する妊娠が一定程度発生している。夫婦でも人工妊娠中絶や意図しない妊娠・出生がいまだに一定程度あることは、夫婦や子どものウェルビーイングに結びつく問題として、少子化と同時に関心を寄せる必要があるだろう。今回の研究は妊娠に至ったケースを分析しており、妊娠を希望してもできないケースや、出生意欲がなく妊娠しないケースなどの動向も、夫婦出生力低下の別の側面として追求する必要がある。

Davis, K. and Blake, J. (1956). Social structure and fertility: An analytic framework. *Economic Development and Cultural Change* 4(3): 211–235. doi:10.1086/4497.14.

Bongaarts, J. (1978). A framework for analyzing the proximate determinants of fertility. *Population and Development Review* 4(1): 105–132. doi:10.2307/1972149.

キーワード：少子化、出生、意図しない妊娠